

Hot Topics

編集・発行: 西日本短期大学 健康スポーツコミュニケーション学科
福岡市中央区福浜1-3-1



秋の感謝祭

Green Peace

～緑と平和を二丈から～

ダブルダッチのパフォーマンスを披露しました

11月4日(日)に二丈キャンパスにおいて秋の感謝祭が開催されました。秋の感謝祭は、緑地環境学科が主体となって企画・運営する大学祭で、今年で19回目を数えます。地域の方々や学生による店が多数並び、バンド演奏やコンサートなど、ステージの催しも充実しています。今年は、苔玉作り体験や樹木スタンプラリー、フラワーアレンジメント教室なども催されました。

ステージイベントでは健スポの1年生がダブルダッチを披露し、会場を盛り上げてくれました。ダブルダッチとは、2本のロープを使って跳ぶなわとびです。向かい合った2人のターナー(回し手)が、右手のロープと左手のロープを半周ずらし、内側に回す中をジャンパー(跳び手)が色々な技を交えて跳ぶというものです。

ダブルダッチのアクロバティックなパフォーマンスで感謝祭を盛り上げようという趣旨で始めましたが、取り組み始めた頃は2本のロープの中に入るのに精一杯...授業の後に、時間を作って練習する日々が続きました。基本動作を習得することから始め、徐々に技の難易度を高めていきましたが、なかなか大技が成功しなかったり、ケガ人が続いたり...そんな中でも、目標は定まっていたので果敢に挑戦する雰囲気は自然と出来上がっていました。

パフォーマンスはEXILEの『SUMMER TIME LOVE』にのせて、ダンスとダブルダッチを合わせたものに仕上がりました。本番前は見る側が緊張しましたが、全員が日々の練習の成果を十分に発揮してくれました。やはり、みんなでひとつの目標に向かって取り組んでいる姿は、見る人を惹きつけますね。練習ではなかなか成功しなかった大技もクリアし、最高の演技でした！1年生のみんな、本当にお疲れ様でした！！本番の様子は右のQRコードからご覧いただけます。



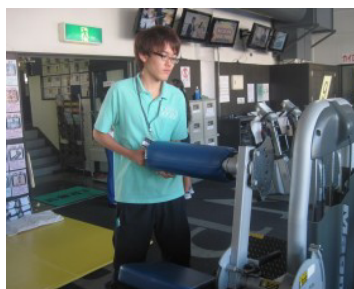
また、2年生からは、府内ゼミナールのメンバーが“はし巻き”を出店。近年の文化祭や感謝祭で、好評をいただいております。今年も「美味しかった」との声をたくさん聞かせていただき、メンバーにとって充実した時間になりました。



スポーツ施設現場実習で たくさんのことを学びました

8月から9月にかけて、本学科の2年生がスポーツ施設現場実習に取り組みました。この実習は授業の一環で、民間のスポーツクラブや病院併設のメディカルフィットネスセンター、および障がい者スポーツ施設などでの現場体験とおして、その雰囲気を感じたり社会人としての心得を学ぶことを目的として実施しています。

スポーツ施設によってコンセプトが異なることから、実習後には学生からはいろいろな体験談を聞くことができました。しかし、共通していたことはコミュニケーション能力の必要性でした。11月中には、実習報告会を開催する予定です。



キッズリーダーの資格を取得しました

10月28日(日)に、本学科の1年生が福浜キャンパスで行われたJFA公認キッズリーダー養成講習会(U-8、10)を受講しました。

キッズリーダーとは、日本サッカー協会(JFA)が認定する資格で、子どもたちに体を動かすことの楽しさや面白さを体感させ、子どもたちと一緒に活動する中で、より健やかな成長の手助けをすることができる指導者を目指します。

午前中は講義形式で、子どもに適したスポーツ指導法を詳しく教えていただきました。また、午後の実技では、真剣に体を動かし、実践の中から指導法を学びました。将来、どんな指導者になっていくか楽しみです。



推薦Ⅱ期入学試験情報

対象	出身高等学校長が推薦する者で、本学を専願する者
出願期間	平成24年11月26(月)～12月12日(水) 必着
試験日	平成24年12月15(土)
試験会場	本学
選考方法	面接・書類審査(面接票含)
合否発表日	平成24年12月25(火) 郵送にて通知
入学手続き締切日	平成25年1月18(金)
受験料	28,000円

※スポーツ特待生制度を希望される場合でも受験することができます。

※詳細は学生募集要項をご覧になるか、入試係(直通092-721-1152)へお問い合わせください。

障がい者スポーツ大会 運営役員として参加しました

10月7日(日)、本学科の1年生が博多の森陸上競技場で行われた、第17回福岡市障がい者スポーツ大会において、フライングディスク競技とレクリエーションの運営ボランティアとして参加しました。

学生たちは、5月に同会場で行われた、障がい者スポーツ大会の運営役員を経験しており、スポーツを“支える”側として成長が感じられる場面も多く見受けられました。





駅伝部を創部します！

本学では、平成25年度より本格的に競技スポーツ活動に取り組む指定強化部として駅伝部を設立いたします。

監督には、1992年バルセロナオリンピック・女子マラソン代表で、熱意ある指導に定評がある 小鴨 由水 氏をお迎えし、九州のみならず全国の舞台上で活躍できる選手を育てていきたいと考えています。

練習は、実業団や近隣の中学校、高等学校などが練習でよく利用する大濠公園(本学から徒歩で約10分)を拠点とし、平和台陸上競技場や博多の森陸上競技場なども活用していきます。また、実業団や他大学の練習に参加させていただいたり、合同練習会も定期的開催していく予定です。強化スケジュールや競技会への参加については、下記のとおりです。

【大会出場・その他予定】

- 4月 第1回学連競技会
- 5月 九州学生陸上競技対校選手権大会
- 6月 第2回学連競技会
- 8月 強化合宿
- 9月 全日本大学女子駅伝対校選手権大会九州地区予選会
- 10月 第3回学連競技会
- 10月 全日本大学女子駅伝対校選手権大会(九州地区予選会の上位2チームが出場可能)
- 12月 九州学生女子駅伝対校選手権大会

監督 小鴨 由水 (コガモ ユミ)



1971年、兵庫県明石市生まれ。高校卒業後、90年ダイハツ工業に入社。92年、大阪国際女子マラソンに出場し、初マラソンながら2時間26分26秒の日本最高記録で初優勝。同年、バルセロナオリンピック女子マラソン代表。93年、ダイハツ工業を退社。96年、岩田屋に入社し、往年の名ランナー・重松 森雄 監督のもと、マラソンに再チャレンジ。99年、岩田屋の陸上部廃止に伴い、退社。現在、西日本短期大学非常勤講師、福岡市立障がい者スポーツセンターなどの指導員として勤務する。また、市民マラソン大会のガイドランナーやゲストランナーとして活動され、平成24年1月26日には大阪国際女子マラソンに9年ぶりに出場し、競技者としても再び走り出した。

健康スポーツコミュニケーション学科では、高校3年間の競技成績に応じて入学金や授業料の減免を講じるスポーツ特待生制度を設けています。この制度は、大学でも競技を続けたいと希望される選手の方々のお押しになる制度であると考えております。詳細につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ

西日本短期大学 駅伝部 顧問

星子 和夫(ホシコ カズオ) 健康スポーツコミュニケーション学科・准教授

(電話) 092-721-1152 (Fax.) 092-721-1536

(メールアドレス) hoshiko@nishitan.ac.jp